

2008～2009 東日本区

会員増強事業計画

会員増強事業主任 久保田康正（伊東クラブ）

担当事業 EMC・広報

1. 事業方針について

東日本区の更なる発展を計るため、2010年横浜国際大会開催決定を契機に設立された「2000プロジェクト委員会」と密接な連携を保ち、中期3か年計画の下に、会員2000名の達成を目指して、東日本区メンバーの心が一つとなって、EMC事業を展開したい。皆さまの一層のご支援とご協力をお願いします。

2. 理事目標について

MC 新会員獲得 300名（国際への目標）
E 新クラブ設立 3クラブ（国際への目標）
広報 CSプログラムを通じて地域に積極的な広報活動を推進する。
知人・友人への一声運動

3. EMC事業について

(1) MC（会員増強と意識高揚）

会員増強のため、クラブ、部、区の中期3か年計画を策定するとともに、方針や課題を共有し、その目標に向かって行動しましょう。

クラブの魅力を再生、発展させよう。

- ・ 全会員が1名以上の新会員候補者の推薦を、クラブEMC委員に提出する。
- ・ 例会のマンネリ化を防ぎ、新しい発想でのプログラムを実施する。
- ・ 入会前トレーニングの確実な実施と、欠席が多い会員との対話を増やす。
- ・ クラブ会則の点検と見直しを進める。
- ・ 15名未満クラブへの半減と、15名以上のクラブは更なる目標を持って進もう。

知人・友人同伴キャンペーンの通年運動

- ・ 2年続いた「知人・友人同伴キャンペーン」を、今年度は更に発展させる。
- ・ 奉仕活動に関心のある若い世代、女性会員、団塊世代、そしてYMCAのスタッフを積極的に勧誘しましょう。

(2) E（新クラブ設立）

今年度は、2000プロジェクト委員会に対し全面的に協力し、各部1クラブの新クラブ設立を目指します。

新クラブ設立のためには、所属するYMCAとの協調が不可欠です。どんなクラブを、どこに、いつを目標にするかなど、よく事前の話し合いを行い、協働して進めましょう。

(3) 広報について

CS活動を積極的に展開し、ワイズ、YMCAのことを地域に広報し理解を得ることは、ワイズのステータスを高めるためにも非常に大切なことです。そのためには、テレビ、ラジオ、新聞、自治体広報誌、YMCAニュース、クラブホームページなどあらゆる広報ツールを積極的に利用しましょう。

EMCの活動には、私たち一人ひとりの普段の広報活動が最も有効です。勇気を持って、ワイズの存在や活動内容を、知人、友人、そして、ワイズにふさわしい諸団体にPRしましょう。

(4) EMC事業委員会、EMC・チャレンジ2000シンポジウム（仮称）の開催

区EMC事業委員会

年3～4回（開催時期：未定）

区EMC・チャレンジ2000シンポジウム（仮称）の開催

開催時期、開催場所、内容などは未定ですが、2000プロジェクト達成のため、「2000プロジェクト委員会」との共同開催を検討中です。